



FIESTA
RAYMIS
TOUR 2017

RAYMIS (ライミス) *南米アンデス民族音楽グループ

ウンベルト (ヴォーカル、管楽器、パーカッション) ルイス (弦楽器) エクトル (チャランゴ、管楽器)
インティ (弦楽器) リチャード (ヴァイオリン、弦楽器) エリック (管楽器)

RAYMIS (ライミス) は、SISAY (シサイ) から生まれた新しいユニットです。

SISAYは来日17年の歴史と経験の中で、エクアドルの民族音楽を基礎に、アンデス、ラテン音楽、現代音楽の要素も取り入れながら、「ワールド・ミュージック」の独自の音楽性を築いてきました。

SISAY独自の新しい音楽性を目指していく中で、エクアドルの伝統的な音楽、そして自分達のルーツを大切にしたいという願いもあり、SISAYのベテランミュージシャンとエクアドルの代表的な演奏者に加え、新たなコンセプトでRAYMISを結成することとなりました。

RAYMISとは彼らの民族の言語『キチュア語』で、“元気な”または“楽しい”という意味を持っています。南米民族音楽の持つ躍動感と力強さ、そして心に響くような民族楽器の音色で人々の心が元気になるようにとの願いを込めて「RAYMIS」というグループ名をつけました。

皆様からのご好評のお声を頂き今年で五年目の企画となりますが、先祖から伝わる数多くの民族音楽を、RAYMISの活動の中で皆様に伝えていきたいと思ひます。

当日のホワイエでは・・・

南米エクアドルと中南米の
国から直輸入の服、雑貨
アクセサリなどを販売!!
提供:インバヤ (Imbaya)



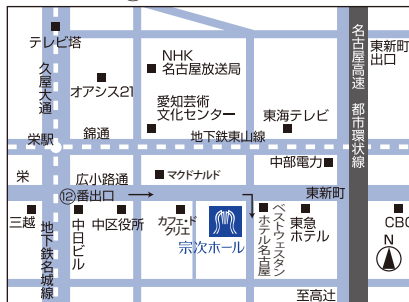
2016年7月1日(金)
スイーツタイムコンサート
南米アンデス伝承曲
～父から子へ語りつがれる伝統の音色～
出演:RAYMIS (ライミス)



文化大使としてのSISAY (シサイ)

SISAYは南米エクアドル音楽の演奏で世界的に活躍するバンドです。エクアドルの民族音楽を基礎に、アンデス、ラテン、現代音楽の要素も取り入れながら、長年の歴史と経験の中で築いてきた独自の「ワールド・ミュージック」の世界を表現します。2005年から2012年まで、国際的なイベントやワールドEXPOに出演するなど様々な活動を行ったため、エクアドル外務省と在日エクアドル大使館より文化大使として表彰を受けています。

交通アクセス
地下鉄栄駅 ⑫ 番出口より東へ徒歩4分




宗次ホール
Munetsugu Hall

名古屋市中区栄4-5-14 〒460-0008
TEL:052(265)1715 FAX:052(265)1716
E-mail info@munetsuguhall.com
URL www.munetsuguhall.com
宗次ホールチケットセンター
営業時間:10:00~18:00
年中無休 (年末年始、施設メンテナンス日を除く)